

# 教育部関連質問

**Q** 成人式の騒ぎに代表される若者観と就職状況を行政はどう見ているか。

**A** 個々や政治の問題ではなく社会全体の現象として捉える必要がある。

田原議員

**Q** ①今年の成人式で、数人の青年が酒を飲んで入場し、式典で騒ぎ残念な状況を引きおこした。このことをどう受けとめているか。

②厳しい就職難の中に置かれている青年の状況をどうみているか。フリーター、ニートなど「若者の雇用問題は若者の責任だ」と見るか。若者が自立しようにも就職できない、「挑戦」しようにもチャンスがない「政治の責任」だとみるのか。

立花教育部長・前土井総務部長

**A** ①成人式で一部の新成人が騒いだことは非常に残念であり、今年のような事態が仮に続くようであれば、開催の是非の検討が必要である。しかし、大多数の成人は式典への参加を希望していることから、式の運営を新成人自らが行うなど、参加意識を高める対策を検討したい。  
(立花教育部長)

②フリーターやニートの増加は、大きな社会問題となっている。この問題については、単純に個人や政治の責任として明確にできるものではなく、社会全体の現象として、家庭・地域・教育などがそれぞれの立場で改善の手立てや行動を考えていく必要があると認識している。  
(前土井総務部長)

**Q** 熊野町の教育の現状と今後について問う。

**A** 各教科の基礎基本に重点を置いた教育指導を行っていく。

井上議員

**Q** ①国は現在、学習指導要領の抜本的な見直しを進めている。いわゆる総合的な学習時間の導入を目玉に掲げてスタートした「ゆとり教育」の見直しである。新聞等では、賛成・反対、あるいは戸惑いなど、様々な状況が次々と報道されているが、この国の教育行政の現状について、町と町教育委員会の見解を問う。

②熊野町もこの指導要領に沿って学習されてきたと思うが、この3年間の主な総合学習の内容とはどんなことか。また、その成果について問う。

西原教育長

**A** ①教育委員会としては、国が考えている「ゆとり教育」の見直しは是非実施して欲しいと考えている。基礎基本を充実した学力向上を第一に考えて新年度の教育行政を進めていく。

②熊野町では各学校が地域の特色などを活かして、筆作りの伝統産業や神楽踊りを取り入れた郷土芸能、ITを活用した情報収集などを展開している。これらの学習は、児童生徒に好評である。今後も、授業推進者が総合学習の目的をしっかり踏まえて学習するよう指導していく。

